

January 29, 2021

**【前日の為替概況】円弱含み、対ドル 104.46 円、対ユーロ 126.67 円、対ポンド 143.27 円**

28日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反発。終値は1.2122ドルと前営業日NY終値(1.2111ドル)と比べて0.0011ドル程度のユーロ高水準。欧州市場では、欧州株相場が下落して始まったことを受けて、リスク・オフのドル買いが先行し1.2081ドルと日通し安値を付けた。ただ、NY市場に入ると一転上昇した。時間外のダウ先物が大幅に上昇したうえ、軟調に推移していた欧州株が持ち直したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が緩和。全般ドル売りが優勢となった。目先上値の目処として意識されていた昨日NY時間の戻り高値1.2129ドルを上抜けるとストップロス巻き込んで一時1.2142ドルまで上値を伸ばした。もっとも、買い戻し一巡後は新規材料難から次第に値動きが細った。

前日に今年最大の下げ幅を記録したダウ平均は反発。「個人投資家の売買で株価が乱高下しているGameStopやAMCなど一部銘柄の取引をネット証券が規制した」と伝わると、投機的な動きが弱まるとの見方から投資家心理が改善した。ダウ平均は一時640ドル超上昇する場面があった。

ドル円は続伸。終値は104.24円と前営業日NY終値(104.11円)と比べて13銭程度のドル高水準だった。クロス円の上昇につれた買いが先行し一時104.46円と昨年12月10日以来の高値を付けたものの、対欧州通貨などでドル売りが強まると104.17円付近まで押し戻された。市場では「104.50-80円には断続的に売り注文が観測されている」との声が聞かれた。

なお、10-12月期米国内総生産(GDP)速報値は前期比年率4.0%増と市場予想通りの結果となったが、個人消費やコアPCEは予想を下回った。12月米新築住宅販売件数も予想より弱い内容となった。

ユーロ円は3日続伸。終値は126.35円と前営業日NY終値(126.09円)と比べて26銭程度のユーロ高水準。欧州株の持ち直しやダウ先物の上昇をきっかけに投資家のリスク志向が改善すると円売り・ユーロ買いが先行し、126.67円と13日以来の高値を付けた。買い一巡後は126円台半ばで値動きが鈍った。

クロス円は堅調だった。ポンド円は143.27円、豪ドル円は80.24円、NZドル円は74.98円、カナダドル円は81.56円、スイスフラン円は117.57円、南アフリカランド円は6.92円まで値を上げた。

トルコリラ円はアーバル・トルコ中銀総裁が金融引き締めスタンスの維持を再表明したことも相場の支援材料となり、一時14.21円まで上値を伸ばした。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、104.50 円の本邦輸出企業の売りオーダーで伸び悩む展開か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、米10年債利回りの利回り上昇を受けて底堅い展開が予想されるものの、104.50-80円に控えている本邦輸出企業からのドル売りオーダーで上値は限定的だと予想される。

本日のドル円のオーダー状況は、上値には、104.50-60円に断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、104.70-80円にも断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、103.80-104.00円に断続的にドル買いオーダーが控えている。

一目均衡表のテクニカル分析では、抵抗帯である雲(下限103.67円・上限104.32円)を上抜けて104.46円まで続伸したものの、ニューヨーク市場の終値は104.24円付近で、雲の上抜けに失敗した形となっている。雲を上抜けた場合は、三役好転の強い買いシグナルが点灯し、ドル円は買いの時代に入ることになるため要警戒となる。

米民主党のペロシ下院議長は、来週中に、新型コロナウイルス対策法案(1.9兆ドル)の議事運営を進め、来週末までに予算決議を完了すると述べている。民主党上院トップのシューマー院内総務は、共和党の支持が得られず60票の賛成票が獲得できなければ、財政調整措置(リコンシリエーション)の発動で、過半数51対50(※上院議長のハリス米副大統領の1票)で予算を成立させる、と述べており、マコネル共和党上院院内総務が反発している。さらに、米政治メディアのポリティコは、バイデン政権が景気対策の迅速な上院通過を狙い、新型コロナワクチン接種や失業保険向けなどの資金を縮小して、法案を6000億ドルと8000億ドルに分割することを検討していると報じており、ホワイトハウスは否定しているものの、来週の議会協議に向けて予断を許さない状況となっている。

また、中国が南シナ海で軍事演習を実施することで、地政学リスクへの警戒感の高まりも要注目となる。プリンケン米國務長官は、「中国による南シナ海での国際法で認められていない権益主張を拒否し、東南アジア諸国とともに中国の圧力に抵抗する」と警告しており、南シナ海、香港、台湾、尖閣諸島と巡る地政学リスクに要警戒となる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ◎ 1月東京都区部消費者物価指数（CPI、生鮮食料品除く総合予想：前年比▲0.6%）
- 08:30 ◎ 12月完全失業率（予想：3.0%）
- 08:30 ◎ 12月有効求人倍率（予想：1.06倍）
- 08:50 ◎ 12月鉱工業生産速報（予想：前月比▲1.5%／前年比▲3.1%）
- 08:50 ◇ 日銀金融政策決定会合における主な意見（1月20-21日分）
- 14:00 ◇ 12月新設住宅着工戸数（予想：前年比▲3.9%）
- 14:00 ◇ 1月消費動向調査（消費者態度指数 一般世帯、予想：29.0）
- 19:00 ◇ 外国為替平衡操作の実施状況（介入実績）

## &lt;海外&gt;

- 09:30 ◎ 10-12月期豪卸売物価指数（PPI）
- 15:00 ◇ 12月南アフリカマネーサプライ M3
- 15:30 ◇ 12月仏消費支出（予想：前月比 19.0%）
- 15:30 ◎ 10-12月期仏国内総生産（GDP）速報値（予想：前期比▲4.0%）
- 16:00 ◇ 12月独輸入物価指数（予想：前月比 0.9%／前年比▲3.1%）
- 16:00 ☆ 10-12月期独 GDP 速報値（季節調整済、予想：前期比横ばい／前年同期比▲4.0%）
- 16:00 ☆ 10-12月期独 GDP 速報値（季節調整前、予想：前年同期比▲3.2%）
- 16:00 ◇ 12月トルコ貿易収支（予想：46.0億ドルの赤字）
- 16:45 ◇ 12月仏 PPI
- 17:00 ◇ 1月スイス KOF 景気先行指数（予想：102.0）
- 17:30 ◎ 10-12月期香港 GDP 速報値（予想：前期比 0.8%／前年同期比▲2.1%）
- 17:55 ◎ 1月独雇用統計（予想：失業率 6.1%／失業者数変化 6000人）
- 18:00 ◇ 1月ノルウェー失業率（予想：4.3%）
- 18:00 ◇ 12月ユーロ圏マネーサプライ M3（予想：前年比 11.2%）
- 21:00 ◎ 12月南アフリカ貿易収支（予想：300億ランドの黒字）
- 21:00 ◎ 10-12月期メキシコ GDP 速報値（予想：前期比 2.8%／前年比▲5.5%）
- 22:30 ☆ 11月カナダ GDP（予想：前月比 0.4%／前年比▲3.1%）
- 22:30 ◇ 12月カナダ鉱工業製品価格（予想：前月比 1.4%）
- 22:30 ◇ 12月カナダ原料価格指数（予想：前月比 2.5%）
- 22:30 ◎ 12月米個人消費支出（PCE、予想：前月比▲0.4%）
- ◎ 12月米個人所得（予想：前月比 0.1%）
- ☆ 12月米 PCE デフレーター（予想：前年比 1.2%）
- ☆ 12月米 PCE コアデフレーター（予想：前月比 0.1%／前年比 1.3%）
- 22:30 ☆ 10-12月期米雇用コスト指数（予想：前期比 0.5%）
- 23:45 ◎ 1月米シカゴ購買部協会景気指数（予想：58.5）
- 24:00 ◎ 12月米住宅販売保留指数（仮契約住宅販売指数、予想：前月比▲0.1%／前年比 20.3%）
- 24:00 ◎ 1月米消費者態度指数（ミシガン大調べ、確報値、予想：79.2）
- 30日 03:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

28日 13:21 ブリンケン米 국무長官

「中国による南シナ海での国際法で認められていない権益主張を拒否し、東南アジア諸国とともに中国の圧力に抵抗する」

28日 16:35 中国商務省

「インドと中国が歩み寄り、企業のために公正で開かれた環境を作り出すことを希望する」

28日 16:41 レーン・フィンランド中銀総裁

「ECBはユーロドルの動向を注視している」  
「必要に応じてあらゆる手段を利用する用意がある」

28日 16:44 中国国防相

「台湾の独立は戦争を意味する」  
「最近の台湾海峡における活動は外国勢力からの挑発に対応」

28日 17:04 アーバル・トルコ中銀総裁

「金融引き締めは断固として維持」  
「20年末のインフレは予想より上昇した」  
「生産者物価指数の上昇圧力は今後も継続するだろう」  
「政府債務が対GDP比で改善したことは金融政策の支持となる」  
「緩和策を検討するのは時期尚早」  
「引き締め策はインフレ目標5%が達成されるまで継続されるだろう」

28日 18:41 中国政府関係筋

「中国、今年は経済成長率の目標を設定しない可能性」  
「今年のインフレ目標を3%程度に設定へ」

29日 01:21 ペロシ米下院議長(米民主党)

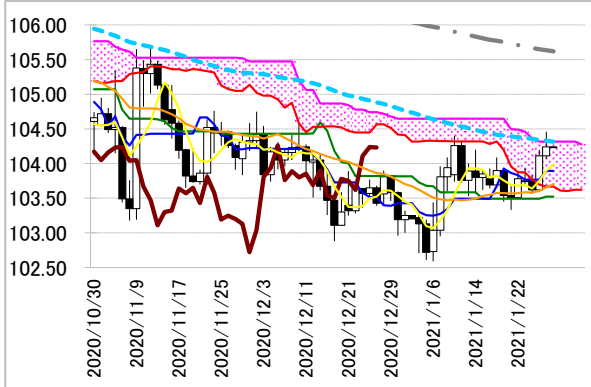
「コロナ対策法案を可決するためならあらゆる措置を講じる用意」  
「ゲームストップ株、興味深い」

29日 02:05 カザークス・ラトビア中銀総裁

「状況によってはECB(欧州中央銀行)の利下げもテール外ではない」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

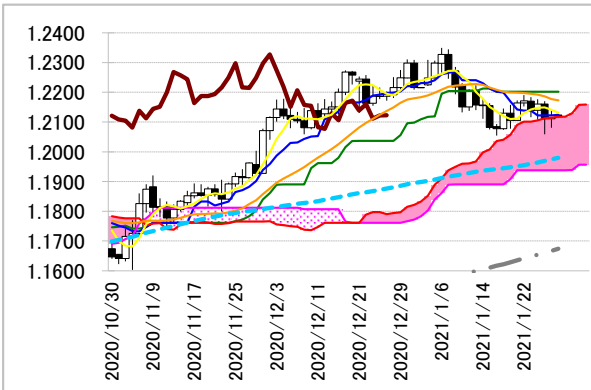


### <ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	104.46(1/28 高値)
前日終値	104.24
サポート1	103.90(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	103.53(日足一目均衡表・基準線)

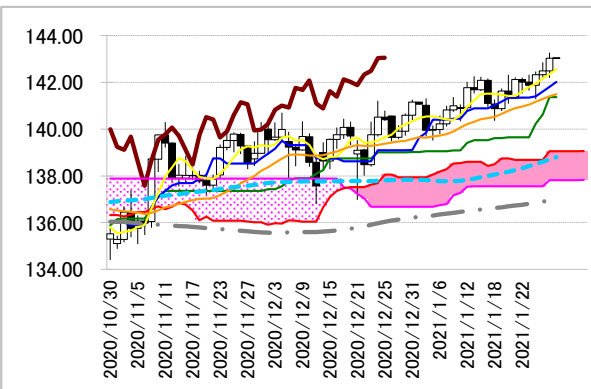


### <ユーロドル＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の上で引けているものの、売りシグナルが優勢な展開となっている。陽線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2202(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	1.2122
サポート1	1.2059(1/27 安値)

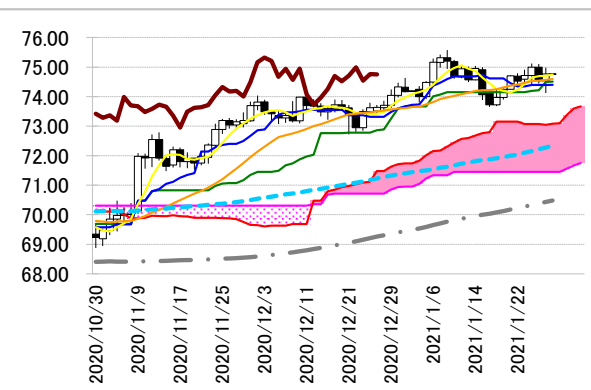


### <ポンド円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。3手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	143.73(2020/2/26 高値)
前日終値	143.04
サポート1	142.03(日足一目均衡表・転換線)



### <NZドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。孕み線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.58(1/8 高値)
前日終値	74.77
サポート1	74.40(日足一目均衡表・転換線)

